

# 令和5年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院天王寺校

## 1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」をWebアンケートツール「Forms」により実施している。令和5年度については、本校の特に力を入れている教育について満足度を図るアンケートを実施した。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

## 2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の項目について、【1：とても満足している 2：やや満足している 3：あまり満足していない 4：全く満足していない】の四者択一方式で満足度調査を実施した。

令和5年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

	カテゴリー	1年生	2年生	3年生
生徒	教科学習への満足度	76.2%	77.2%	75.2%
	グローバル教育への満足度	71.0%	65.4%	72.6%
	探究的な学びへの満足度	69.2%	67.4%	74.4%
	生徒支援への満足度	72.2%	68.4%	77.6%
保護者	担任の先生への満足度	88.2%	84.2%	84.2%
	学校行事・学校生活への満足度	76.6%	70.0%	71.2%
	前年度に比べてのお子様の成長感	82.4%	71.2%	80.6%

### 3 考察

#### (1) 生徒意識調査アンケート

- ・生徒支援（担任・学年団サポート）については、おおむね高い満足度となっているが、中でも登校が難しい生徒については、満足度が低い傾向にあると推測される。そのため、長期欠席の生徒へのアプリを活用した日常の連絡や、家庭訪問により力を入れていく。
- ・教科の学習については、令和5年度からアクティブラーニング形式の学習に移行したことにより満足度の向上が見られた。しかし、グループワークが苦手な生徒もいるので、引き続き個別的な配慮を継続していく。
- ・グローバル教育については、その必要性は伝わっていると思われるが、英語が苦手な生徒に対しては、放課後の基礎学習講座を継続し、わかった体験・できた体験を繰り返していくことにより、グローバル教育に対する興味・関心を高めていく。

#### (2) 保護者意識調査アンケート

- ・担任に対する満足度は高い数値となっており、日常的な家庭連絡や生徒面談・三者面談について生徒・保護者とも前向きに捉えていただいていると考える。
- ・学校行事・学校生活への満足感については、保護者の方に来校いただく機会を増やしたことから向上はしているが、行事等も恒例行事だけでなく、刷新していく必要性を感じる。
- ・生徒・保護者ともに全体的に第2学年の満足度が低下しており、中だるみ傾向が見られる。進路に対する動機づけ等をしっかりと行うことにより学校生活へのモチベーションを高めていく。